

## 株主メモ

- 事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
- 定時株主総会 5月
- 基準日 定時株主総会 2月末日  
期末配当金 2月末日  
中間配当金 8月末日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法 電子公告により行います。  
ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081)  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-176-417

## 株式会社テイツー

IR窓口:東京都品川区西五反田七丁目1番1号 住友五反田ビル5F・6F  
TEL (03)5719-4775 メールアドレスir@tay2.co.jp

インターネットホームページ <http://www.tay2.co.jp>



## 株主の皆様へ

### 第22期報告書

(2011年3月1日～2012年2月29日)

株式会社テイツー

**Q** 2012年2月期の業績についてお聞かせください。

**A** 2012年2月期は、当社にとって非常に重要な1年でした。東日本大震災による消費マインドの冷え込みや社会インフラの回復の遅れなど、厳しい経営環境でスタートを切った年であり、社内でもここ数年に出店した店舗の収益貢献が弱く、店舗オペレーションの業務効率化も十分ではありませんでした。

このような環境の中、代表取締役役に就任した私を含めた新経営陣は、長期継続的成長の実現のため、「等身大で着実な経営基盤固め」を推進しました。既存政策の抜本的な見直しを図り、「テイツー“もったいない”ファンド」を解散するとともに、アイ・カフェ事業部門の会社分割を行い、未来のための投資資源の確保を実現いたしました。そして、「消費者参加型」マーケティングを実施する新会社「TWO-BASE株式会社」を設立することに加え、プリペイドカード（予め入金した金額の限度内で商品代金を支払うなどの機能を持つカード）事業参入を本格的に検討し、アメリカで同事業のノウハウと実績を持っているCard Flex社と資本・業務提携に係る基本合意書を締結するなど、新規事業をベースに成長に向けた経営改革の準備を完了しました。更に、株式会社ベーシック、株式会社キツキと共同で「ゲーム情報サイト事業」を開始することを決定し、ゲームマニアと一般ユーザーが共存できる場所を作り上げることで、より多くのお客様にご満足いただくための努力を行ってまいりました。

営業の面では、東日本大震災により一部の店舗に影響はありましたが、迅速な復旧作業等でその影響を最小限にとどめることができました。また、当社店舗の一部のレンタル部分を「TSUTAYA」としてリニューアルオープンするとともに、業績不振であった店舗の閉鎖及び既存店の店舗改装を行うなど、店舗網強化及び利益確保の体制を整えてまいりました。更に、今後成長が期待されるEC部門へのシステム投資を行うなど、将来への基盤づくりに努めてまいりました。

しかしながら、日本国内において個人消費の冷え込みが続いたことや、アイ・カフェ事業部門の会社分割による売上高減少等から、売上高は361億8千8百万円（前期比7.0%減）となりました。利益の面では、売上高の減少に加え、ECシステム開発や店舗改装の集中など、将来のための先行投資が重なったこともあり、営業利益は7億4千万円（前期比17.2%減）、経常利益は7億3千9百万円（前期比15.8%減）となりました。また、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う3億4千1百万円の特別損失を計上した影響等により、当期純損失は1千9百万円となりました。



代表取締役社長  
堀 久志

**Q** 2013年2月期の見通しについて教えてください。

**A** 今後のわが国の経済につきましては、債務危機が見舞われているヨーロッパ経済の低迷や原油など資源価格の高止まり等を背景に、先行きに不透明感は続くものと思われまます。当社の属する小売サービス業におきましても、雇用環境の改善が見込まれないことによる消費マインドの低迷を背景として個人消費の回復は見込み難しく、厳しい経営環境が続くものと考えております。

こうした環境の下、当社といたしましては2013年2月期を前期に作り上げた等身大で着実な経営基盤をもとに「成長への布石を打ち、実行に移す年」と考えております。

店舗運営におきましては、より一層のコスト管理と、効率的な店舗オペレーション、新入社員及びパート・アルバイトの早期戦力化に向けて努力してまいります。なお、商材別マクロ市場の動きに合わせた販売戦略の展開による売上拡大や、既存店舗のスクラップ&ビルドを積極的に検討してまいります。

新規事業に関しましては、「消費者参加型」マーケティングの第1弾としてすでに発売を開始している「ペットサプリメント」の販売に注力するとともに、「プリペイドカード事業」の本格的な運営体制作りにも努めることや、「ゲーム情報サイト事業」の立ち上げ及び収益改善を進めるなど、新規事業をいち早く軌道に乗せるべく努力してまいります。

このように既にある店舗プラットフォーム、ECプラットフォームに、SNSマーケティングやゲーム情報サイト、プリペイドカードを有効に組み合わせることで、複数の収益源を確保するとともに、事業シナジーの最大化を図ってまいります。

以上の結果、2013年2月期の売上高は360億円（前期比0.5%減）、営業利益は8億円（前期比8.1%増）経常利益は7億8千万円（前期比5.5%増）当期純利益は4億3千万円（前期は1千9百万円の当期純損失）を見込んでおります。

### 店舗改装に集中、TSUTAYAリニューアルオープン

営業部門につきましては、業績不振であった店舗の閉鎖及び既存の古本市場店舗の改装を集中して行うとともに、古本市場蓮田店（埼玉県）及びブック・スクウェア菟野店（三重県）のレンタル売場を「TSUTAYA」としてリニューアルオープンするなど、店舗網強化及び利益確保体制の整備を図ってまいりました。新規出店に関しましては、収益性を重視する厳選出店を行い、古本市場加古川別府店（兵庫県）を出店しました。店舗運営の面では、引き続きオペレーションの改善を行い、人件費等の固定費削減について一定の成果を収めることができました。

### ECの新システム導入

今後の成長性が期待されるEC部門に関しましては、当社が運営する「フルイチオンライン」の成長のみならず、モバイル市場や提携マーケットプレイスの戦略的な利用により売上を伸ばすことができました。なお、下期につきましてはシステム投資を行い、ユーザーインターフェースのみならずバックヤードシステムの改善を図ってまいりました。



### 新規事業の基盤構築

間接部門につきましては、経営体制の刷新を行う中、間接部門の業務効率化を徹底し、利益貢献を図ってまいりました。新規事業に関しましては、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した「消費者参加型」のマーケティングを実施する新会社「TWO-BASE株式会社」を設立し、その活動の第1弾として「ペットサプリメント市場」に参入しました。また、「プリペイドカード事業」参入を本格的に検討するなど、来期以降の準備を着実に進めてまいりました。

しかしながら、個人消費低迷の影響で客数の維持が難しい状況が続いた影響等で、2012年2月期の売上高は361億8千8百万円（前期比7.0%減）となりました。利益の面では、売上高の減少に加え、ECシステム開発や店舗改装の集中など、将来のための先行投資が重なったこともあり、営業利益は7億4千万円（前期比17.2%減）、経常利益は7億3千9百万円（前期比15.8%減）となりました。また、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う3億4千1百万円の特別損失を計上した影響等により、当期純損失は1千9百万円（前期は3億9千1百万円の当期純利益）となりました。

また、2011年9月12日を効力発生日として、当社のアイ・カフェ事業部門を会社分割し、株式会社カジ・コーポレーションに承継いたしました。これにより、既存政策の抜本的な見直しを図り、経営資源の選択と集中を図ることができました。

※連結子会社であるインターピア株式会社が2011年3月から連結の範囲から除外されることとなったため、2012年2月期からは単体決算となりました。

## 【3Bee出店】

当社は2012年3月15日、ゲーム専門パッケージ「3Bee」第1号店を神奈川県藤沢市にオープンいたしました。

「3Bee」は、テレビゲーム、CD、DVD、トレーディングカードの新品・中古を取り扱う、当社独自のパッケージ店舗です。現在当社の主力店舗である「古本市場」は、上記のメディア新品・中古に加え古本を取り扱っていますが、「3Bee」は古本を取り扱わないことで、「古本市場」の半分程度のスペースでも出店が可能となり、お客様のニーズに合わせて、臨機応変な展開が可能となります。



「3Bee」は、家族みんなでお買い物を楽しむシーンを、蜜を運ぶ蜂をイメージしたロゴにしております。ご家族の皆様で、当社が提供している手頃な価格の娯楽を楽しんでいただいているというサービスイメージをコンセプトにいたしました。

当社は、今後も既存の主力店舗である「古本市場」に加えて、「3Bee」という新しいゲーム専門パッケージをラインナップに加え、お客様のニーズにお応えすることで、更なる企業価値の向上を実現すべく努力してまいります。



## 【ペットサプリメント発売開始】

当社はSNSを活用した「消費者参加型」マーケティングを実施する新会社「TWO-BASE株式会社」を設立し、その活動第1弾として2012年4月25日からペットサプリメントの販売を開始いたしました。

今回販売する商品は「森のドクター」シリーズとして、グルコサミンまたはカキエキスが含まれている錠剤サプリメント及びデザートサプリメントです。これは日本最大級のペットブログポータルサイト「アセラブログ」から会員を募集して、商品企画やデザインに関する意見をいただき、方向性を決定した上で制作したものであります。

今後は、ペットサプリメント開発で取得した「消費者参加型」マーケティングのノウハウを、幅広い分野の商品やサービスにも有効に活用し、事業拡大につなげてまいります。



## 【ゲーム情報サイト事業開始】

当社は検索エンジンの最適化において多くのノウハウと実績を有する株式会社ベーシック、ゲーム情報サイトを運営している株式会社キヅキと共同で、「ゲーム情報サイト事業」を開始します。

サイト名は、ゲーム魂の略語。「すべてのゲーマーの魂を熱くしたい」という思いを込めて「げむたま」と命名いたしました。ゲームユーザーがゲームの情報を気軽に手に入れられる場所、そしてゲームの評価や攻略方法などのゲーム情報を発信する場所を作ることで、ゲームに関して「一般」と「マニア」が共存できる新しいコミュニティゲームメディアを創出したいと考えております。サイトを利用するユーザーに利用料を負担していただくことなく、クリック数に応じて料金が発生する成功報酬型広告やページに設置されるバナー広告等を当該サイトの主な収入源とする予定です。

当社といたしましては、現在当社が運営中のECサイト「フルイチオンライン」に同サイトを効果的に結び付けることにより売上向上を図るなど、事業間シナジーの最大化を目指してまいります。

# Financial Highlight

## 財務データ

### ■ 売上高



### ■ 経常利益



### ■ 総資産



### ■ 純資産



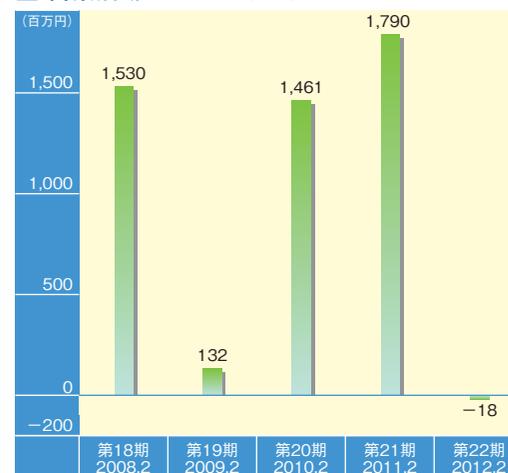
### ■ 当期純利益



### ■ 売上高営業利益率



### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



### ■ フリーキャッシュ・フロー



※2011年2月期までの営業活動によるキャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローについては連結の数値を使用しております。

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2012年2月29日現在)	前期 (2011年2月28日現在)	科目	当期 (2012年2月29日現在)	前期 (2011年2月28日現在)
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
流動資産	7,852	5,962	流動負債	3,423	3,578
現金及び預金	2,612	1,452	買掛金	893	1,438
商品	3,907	3,502	短期借入金	750	—
繰延税金資産	213	217	1年内返済予定長期借入金	781	725
その他	1,118	790	未払金	326	380
固定資産	4,367	5,294	未払法人税等	—	265
有形固定資産	1,558	1,893	ポイント値引引当金	256	278
建物及び構築物	853	1,062	その他	414	489
土地	242	242	固定負債	3,429	2,159
その他	462	588	長期借入金	2,255	1,353
無形固定資産	284	278	資産除去債務	406	—
ソフトウェア	284	265	その他	767	805
その他	0	12	負債合計	6,853	5,738
投資その他資産	2,525	3,123	<b>【純資産の部】</b>		
投資有価証券	67	37	株主資本	5,359	5,493
長期貸付金	244	412	資本金	1,165	1,165
繰延税金資産	699	788	資本剰余金	1,119	1,119
差入保証金	1,262	1,581	利益剰余金	3,323	3,456
その他	251	303	自己株式	△249	△249
			評価・換算差額等	△0	△2
			新株予約権	7	28
資産合計	12,220	11,257	純資産合計	5,366	5,519
			負債純資産合計	12,220	11,257

## ポイント解説 1

昨今の不安定な金融状況を鑑み、借入を実施しました。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年3月1日から 2012年2月29日まで)	前期 (2010年3月1日から 2011年2月28日まで)
売上高	36,188	38,897
売上原価	26,640	28,933
売上総利益	9,547	9,963
販売費及び一般管理費	8,806	9,069
営業利益	740	894
営業外収益	82	68
受取利息及び受取配当金	5	6
その他	77	62
営業外費用	83	84
支払利息	40	51
その他	42	33
経常利益	739	878
特別利益	28	15
特別損失	647	151
税引前当期純利益	121	742
法人税、住民税及び事業税	49	382
法人税等調整額	91	△31
当期純利益又は当期純損失	△19	391

## ポイント解説 2

震災に伴う個人消費の低迷やアイ・カフェ事業部門の会社分割の影響で売上高は減少しました。

## ポイント解説 3

資産除去債務会計基準の適用による影響額や減損損失などの特別損失の発生等により、当期純損失を計上しました。

## Financial Data

## 財務諸表

### キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (2011年3月1日から 2012年2月29日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18
税引前当期純利益	121
減価償却費	546
その他営業活動による増減額	△208
小計	460
法人税等の支払額	△438
その他	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	75
有形固定資産の取得による収支	△143
無形固定資産の取得による収支	△157
差入保証金の差入・回収による収支	17
事業譲渡による収入	425
その他	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,402
短期借入金の純増減額	750
長期借入金の借入・返済による収支	957
その他	△304
現金及び現金同等物の増加額	1,459
現金及び現金同等物の期首残高	1,368
現金及び現金同等物の期末残高	2,828

#### ポイント解説 4

アイ・カフェ事業部門の会社分割により、投資活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

※2012年2月期より単体の財務諸表のみを作成しております。前期の単体キャッシュ・フロー計算書については、開示を行っていないため、記載を省略しております。

### 株主資本等変動計算書

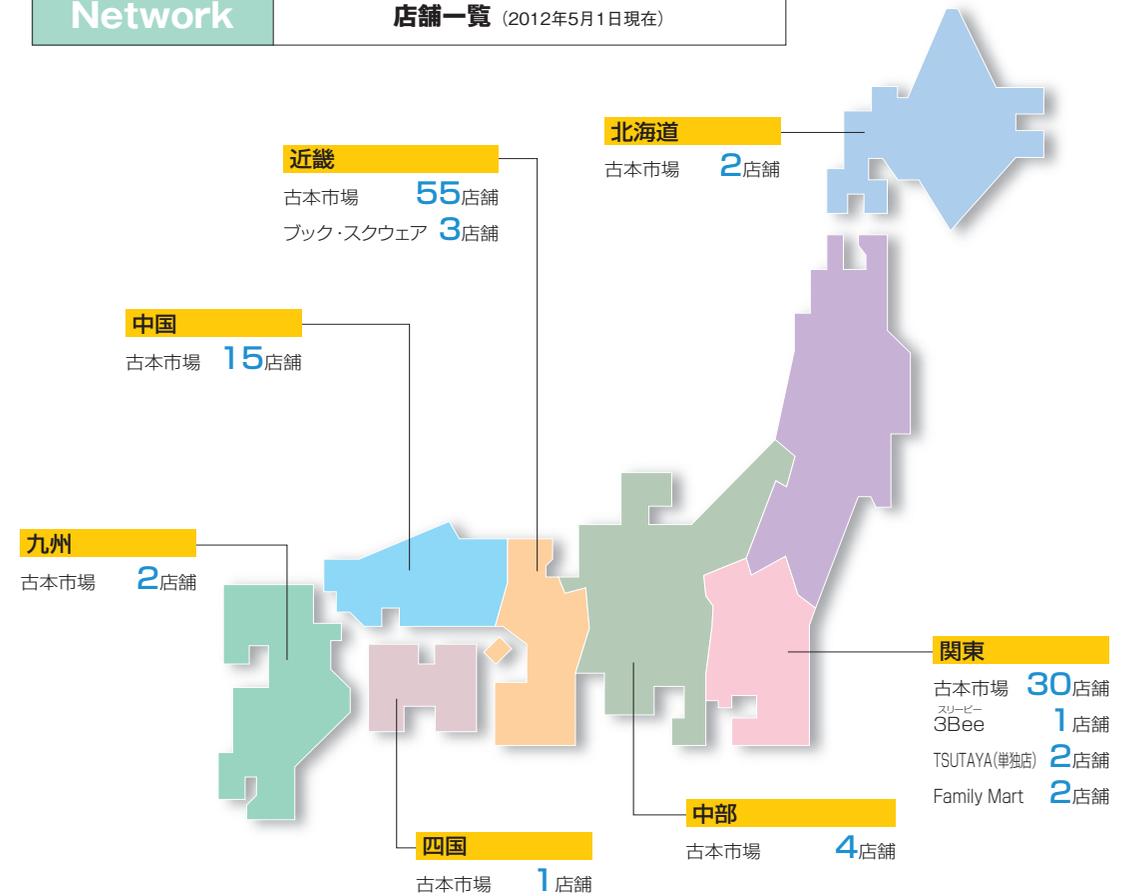
当事業年度 (2011年3月1日から2012年2月29日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2011年2月28日残高	1,165	1,119	3,456	△249	5,493	△2	28	5,519
事業年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△113	—	△113	—	—	△113
当期純利益	—	—	△19	—	△19	—	—	△19
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	1	△20	△19
事業年度中の変動額合計	—	—	△133	—	△133	1	△20	△152
2012年2月29日残高	1,165	1,119	3,323	△249	5,359	△0	7	5,366

## Network

## 店舗一覧 (2012年5月1日現在)



### 新店舗

#### 古本市場

加古川別府店	兵庫県加古川市別府町緑町1番	2011年11月23日オープン
スリービー 3Bee		
村岡店	神奈川県藤沢市村岡東1-5-7	2012年3月15日オープン
TSUTAYA (単独店)		
横須賀堀之内店	神奈川県横須賀市三春町3-8	2012年4月1日オープン
衣笠店	神奈川県横須賀市衣笠栄町2-15-3	2012年4月1日オープン

※各店舗の詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。  
<http://www.furu1.net/index.html>

## Stock Information

### 株式の状況／会社の概要

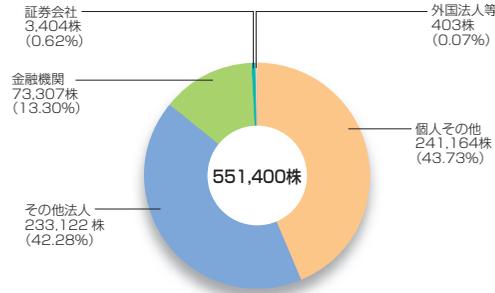
#### 株式の状況 (2012年2月29日現在)

■ 発行可能株式総数	2,000,000株
■ 発行済株式の総数	551,400株
■ 株主数	5,790名

#### 大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	110,637 株	20.06 %
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	77,601	14.07
株式会社山陰合同銀行	21,000	3.80
ティーツー従業員持株会	18,363	3.33
株式会社中国銀行	11,000	1.99
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	1.81
株式会社みずほ銀行	10,000	1.81
大橋康宏	8,173	1.48
株式会社トマト銀行	8,000	1.45
株式会社アイシーピー	7,300	1.32

#### 所有者別株式分布状況



(注1) 当社は自己株式33,652株を保有しておりますが、表記しておりません。  
 (注2) 当社は2012年5月31日に自己株式25,000株を消却します。  
 消却後の発行済株式総数は526,400株となります。

#### 会社の概要 (2012年2月29日現在)

商号	株式会社ティーツー
英訳名	TAY TWO CO.,LTD.
店舗名	古本市場、ブック・スクウェア、Family Mart
創業	1989年10月
設立	1990年4月
本社	岡山県岡山市北区今村650番111 TEL (086) 243-8600
東京本部	東京都品川区西五反田七丁目1番1号 住友五反田ビル5F・6F TEL (03) 5719-4580
代表者	代表取締役社長 堀 久志
資本金	1,165,507千円
従業員数	400名 パート・アルバイト1,196名

#### 主な事業内容

古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の販売・買取  
 及びCD、DVDレンタル業務、Family Mart (コンビニエンスストア) の運営

#### 役員 (2012年5月25日現在)

代表取締役社長	堀 久志
取締役副社長	荒井 薫
取締役	関本 慎治
取締役	寺田 勝宏
取締役(社外)	高橋 誉則
取締役(社外)	大谷 真樹
常勤監査役(社外)	武田 由隆
監査役	北村 清人
監査役(社外)	平田 修
監査役(社外)	中山 泰章

## Smiles of Fellow

### 仲間たちがいる風景

「ティーツーに入社してよかった」  
 そのひとことが何よりもうれしい。

経営企画部 セネラルアソシエイト  
 荒金 祥行



入社以来、中百舌鳥店にはじまり、泉大津店・平野店・久宝寺店・富田林店・箕面店とずっと現場を歩んできましたが、現在は経営企画部へ所属になり本部に勤務しています。店長の時から人を育てることが大好きで、採用・研修に携わる機会も多く、以前から本部に行きたいという希望を出していました。今は、人材育成や従業員戦力化などの新しい人事施策づくりに取り組んでいます。店舗に行った際は、スタッフと面談を行ったり不安案件を聞くなど、現場感を忘れず生の声をダイレクトにヒアリングすることで施策づくりに活かしています。自分が採用や研修にかかわったスタッフから「ティーツーに入社してよかったです」という声を聞いたときは、やっぱりうれしいです。私のモットーは「熱いハートと魂でアプローチすること」です。今の仕事は特に人とかかわる仕事が多いため、同じ社員同士ですが、お客様と接する気持ちと変わらず、常に相手の立場を思いやる事を心がけています。

何でも親身になって聞いてもらえる。  
 そこがティーツーのいいところ。

古本市場 緑橋店 店長  
 西坂 久美子



ティーツーには最初アルバイトで採用されました。働きながら社員の方が責任をもって仕事に取り組んでいるところや、コミュニケーションをしっかりとって人材育成をして店舗の成長につなげているところを見て、私もこの会社に入ればやりがいをもって仕事ができるのではないかと思い、正社員の採用試験を受けました。社員として採用された後は、たくさんの先輩方に親身に指導され、現在は店長として店舗を任されています。店長になることで、違う視野で店舗を成長させる楽しさがあり、私がティーツーを選んだ判断は間違っていないと思います。店長への昇格も、ただ年数が経過したから店長になるのではなく、店舗をまとめる力があるかを見極めていただいた上で、推薦していただきました。ティーツーは自分の店だけでなく、お互いで助け合いながら良い店舗を作っていくという雰囲気があります。そういう点で女性にとって働きやすい会社です。私も後輩をしっかりと育てていくことで女性店長の見本となるように日々邁進していきたいと思っています。